

# 令和3年度 医師確保対策事業について

令和3年3月17日(水)  
地域医療対策協議会



# 令和3年度 医師確保対策の概要

県の対策 国の対策

	医 学 生 (6年)	臨 床 研 修 医 (2年)	専 攻 医 (3~5年)	医 師																																											
県内定着対策	<b>①医師充足対策事業 (S47~) 136,330</b> 自治医科大学で医師を養成し、卒業医師をへき地診療所等へ派遣																																														
	<b>②臨床研修病院合同説明会 (H17~) 395</b> R1:11病院、医学生69名参加 R2:中止	<b>臨床研修制度の見直し</b> ※研修希望者に対する募集定員の割合を縮小 ※都道府県への権限移譲 (各病院の定員設定、プログラム変更等)	<b>⑨結核地域医療体制強化事業 (R2~) (担当:感染症対策課) 20,088</b> (H29~R1:結核医療体制強化事業として実施) 結核診療を担う医師の育成を大分大学に委託 ※結核診療支援センター委託分含む	<b>⑩U・Iターン促進対策事業 (H18~) 354</b> 無料職業紹介所「ドクターバンクおおい」開設																																											
地域的偏在対策	<b>③おおいの医学生修学サポート事業 (H19~) 94,530</b> 入学金、授業料、修学支援金を貸与 大分大学特別選抜地域枠(旧AO地域枠) 13名 ※学士編入入学地域枠 H19~26(3名)、H27~(0名) ※特別選抜地域枠 H21(5名)、H22(10名)、H27~(13名)	<b>⑥地域医療支援センターの整備等 (H22~) (大分大学への委託事業) 51,033 (内、大分大学への委託事業 50,721)</b> ○地域医療研究研修センター(H22~ 専任医師1名) 豊後大野市民病院に設置。医学生や研修医への実践的な地域医療教育・研修等 ○地域医療支援センター(H23~ 専任医師2名、H31~ 専任医師3名) 地域医療を担う医師のキャリア形成支援や医師・医学生への情報発信、相談支援等	<b>⑤後期研修医研修資金貸与事業(H19~) 46,800</b> 地域中核病院等で後期研修を行う医師に研修資金貸与 (⑧と合わせ31人枠) R2貸与:外科2名 内科7名																																												
	<b>④地域医療研修会 (H17~) 2,615</b> 医学生診療所等体験研修 R1:自治医科大学・大分大学地域枠学生77名参加 R2:中止		<b>⑦おおい地域医療支援システム構築事業 (H20~) 33,625</b> 大分大学への委託研究事業。小児科、産婦人科医師の地域中核病院への派遣及び地域医療を担う人材育成プログラムの研究開発(専任医師3名) 小児科 H21.4~ 国東市民病院(1名) H29.4~ 杵築市立山香病院(1名) H29.4~ 中津市民病院(3名) 産婦人科 H20.10~ 中津市民病院(1名) ※H22.9(+1名)、H25.3(+1名)	<b>⑩大分県医師留学研修支援事業 10,500 (H19~)</b> 小児科・産婦人科や地域中核病院等に勤務する医師の国内外での研修費用の助成 R2:6月研修 3名																																											
(小児科・産婦人科・救急科等)	<b>医師養成数を過去最大程度まで増員</b> 大分大学入学定員 H21: 95名→105名 H22:105名→110名		<b>⑧後期研修医研修資金貸与事業(H19~) ※⑤の再掲</b> 小児科、産婦人科の後期研修を行う医師に研修資金貸与 R2貸与:小児科 6名、産婦人科 7名	<b>⑪産科医療補償制度の創設 (H21.1~)</b> <b>⑫産科医師等確保支援事業 (H21~) 28,914</b> 分娩手当を支給する分娩取扱医療機関に対して助成 <b>⑬届出による有床診療所開設審査基準の制定 (H19~)</b> 病床過剰地域であっても、小児科、産婦人科医師の少ない市町村では、有床診療所の開設等を可能とする本県独自の審査基準 H20.9(佐伯市に産婦人科診療所開設) H22.3(杵築市に産婦人科診療所開設) <b>⑭救急医療研修支援事業 (R3) 10,860</b> 救急医療の対応能力向上に係る研修環境の整備を行う医療機関に対する助成																																											
	<b>【参考】地域枠卒業医師の推移(当初見込み)</b> (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期研修</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>後期研修</td> <td>11</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>35</td> <td>36</td> <td>39</td> <td>38</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>地域勤務</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>38</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>34</td> <td>48</td> <td>56</td> <td>67</td> <td>77</td> <td>91</td> <td>104</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> ※地域勤務(実績) 3 8 11 14		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	初期研修	22	26	26	24	25	26	28	28	後期研修	11	19	24	35	36	39	38	39	地域勤務	1	3	6	8	16	26	38	43	計	34	48	56	67	77	91	104	110	
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																							
初期研修	22	26	26	24	25	26	28	28																																							
後期研修	11	19	24	35	36	39	38	39																																							
地域勤務	1	3	6	8	16	26	38	43																																							
計	34	48	56	67	77	91	104	110																																							
	医 学 生 (6年)	臨 床 研 修 (2年)	専 門 研 修 (3~5年)	医 師																																											

# 医師充足対策事業の概要(自治医科大学)

## 1 目的

本県の医師充足状況は、人口対比でみる限り全国中位にあるが、地域的に偏在しており、へき地診療所やへき地医療拠点病院の医師の確保が困難な状況にある。このため医師確保対策として次の事業を実施している。

## 2 概要

### (1) 自治医科大学運営費負担事業 (R3年度負担金 131,200千円)

自治医科大学は、医療に恵まれない地域に勤務する医師を養成することを目的に、昭和47年4月に全都道府県が共同で設置した大学であり、運営費については各都道府県が一律負担している。

#### ① 修学資金貸与と義務年限

貸与金総額 23,000,000円

(入学料、授業料、実験実習費、施設整備費、入学時学業準備費)

義務年限 貸与期間(6年)×1.5倍=9年

(義務年限中の標準的な勤務ローテーション)

貸与期間						勤務義務期間								
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6年貸与を受けた場合						臨床研修(2年) (県立病院)		へき地勤務 (病院)		専門研修		へき地勤務(診療所・病院)		

#### ② 本県卒業生・在学生の状況(令和3年4月予定)

■ 卒業生 95名

義務年限終了者 74名(中途退職・返還者3名を含む)  
内、県内定着者 54名(73.0%)

義務年限中の者 21名

■ 在学中の者 16名

#### ③ 派遣・研修の状況(令和3年4月予定)

##### ■ 病院勤務(7名)

国東市民病院	3名
杵築市立山香病院	1名
豊後大野市民病院	2名
中津市民病院	1名(義務年限終了者)

##### ■ 診療所勤務(3名)

姫島村国民健康保険診療所	2名
佐伯市国民健康保険丹賀診療所	1名(義務年限終了者)

■ 臨床研修 6名

■ 専門研修 3名

■ 結婚協定による他県勤務 3名

■ 産育休 1名

#### (2) その他自治医科大学医師等に係る経費

- ・ 自治医科大学卒業医師研修
- ・ 自治医科大学卒業医師派遣に係る連絡調整

# 大分県医師修学資金貸与制度について(地域枠)

## 目的

医師不足に対応するため、地域医療への貢献を志す県内出身の医学生に対して修学資金を貸与することで、卒業後の県内定着を促進し、医師不足が顕在化している過疎地域等の医師確保を図る。

## 制度の概要

区分	特別選抜(総合型選抜)地域枠(H21~)	学士編入学地域枠(H19~26)
①対象者	県内出身者で、大分大学卒業後、県の指定する医療機関で医師の業務に従事しようとする医学生	
②定員	13名 (H21~5名、H22~10名、H27~13名)	※H19~3名、H27~0名
③貸与対象	入学料+授業料+修学支援金	入学料+授業料+修学支援金
④貸与期間	最短 6年	最短 4.5年
⑤貸与総額	7,096,800円/1人当たり	10,793,100円/1人当たり
⑥返還の免除	貸与を受けた期間の2分の3を義務期間とし、県の指定する医療機関において医師として勤務した場合、全額を免除する。	
	最短 9年(6年×1.5倍)	最短 7年(4.5年×1.5倍)

## 標準的な勤務パターン

### ① 学士編入学地域枠の勤務パターン

卒後年数	1	2	3	4	5	6	7
配置先	臨床研修 (大学病院)		専門研修(大学病院等) 3年間 地域勤務(へき地医療拠点病院等) 2年間				

### ② 特別選抜地域枠の勤務パターン

卒後年数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
配置先	臨床研修 (大学病院)		専門研修(大学病院等) 3年間 地域勤務(へき地医療拠点病院等) 4年間						

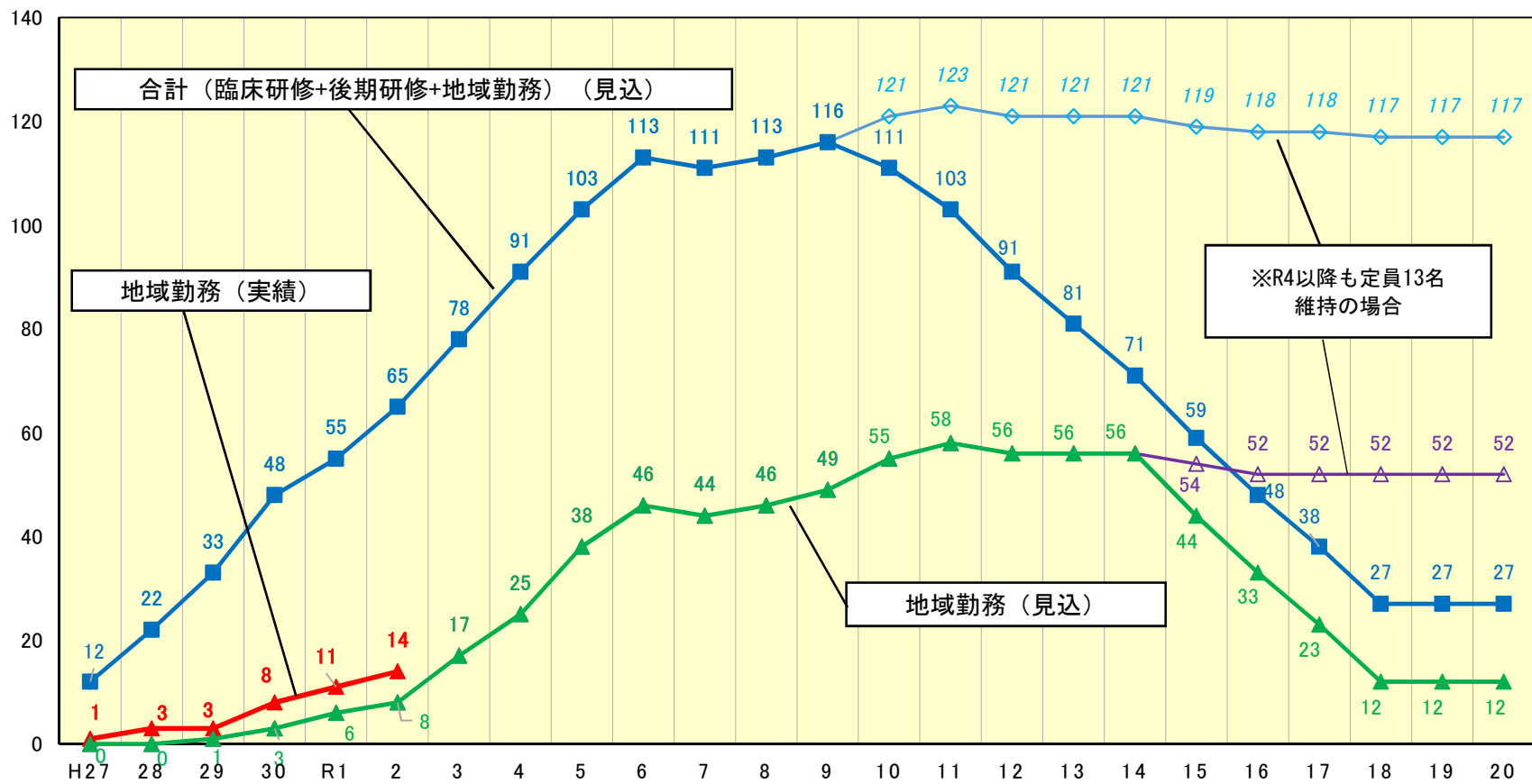
## 指定医療機関

区分	医療機関名	自治医 派遣先	
臨床 研修	大分大学医学部附属病院 (県内の研修協力病院等での研修も可)	-	
専門 研修	大分大学医学部附属病院等	-	
地域勤務	(旧大分市内及び別府市内を除く) へき地医療拠点病院	国東市民病院	○
		杵築市立山香病院	○
		豊後大野市民病院	○
		中津市民病院	○
		南海医療センター	
		大分県済生会日田病院	
		臼杵市医師会立コスモス病院	
		津久見市医師会立津久見中央病院	
		竹田医師会病院	
		宇佐高田医師会病院	
	佐賀関病院		
	長門記念病院		
	佐伯中央病院		
	大久保病院		
	高田中央病院		
	市町村が設置するへき地診療所	姫島村国民健康保険診療所	○
		津久見市保戸島診療所	
		佐伯市国民健康保険因尾診療所	
		佐伯市国民健康保険鶴見診療所	
		佐伯市国民健康保険丹賀診療所	○
佐伯市国民健康保険大島診療所		○(兼)	
佐伯市国民健康保険米水津診療所			
佐伯市国民健康保険大入島診療所			
日田市立上津江村診療所			
日田市立東溪診療所			
九重町飯田高原診療所			
中津市国民健康保険山移診療所			
中津市国民健康保険津民診療所			
中津市国民健康保険槻木診療所			

※上記の派遣先を基本とするが、派遣先の調整に支障を来すこととなった場合は、二次救急医療を担う病院(大分市・別府市を除く)も加えて派遣調整する

# 地域卒業医師の推移（見込と実績）

R2. 4. 1時点



合計＝卒後1～9年目の人数（臨床研修2年間+後期研修3年間+地域勤務4年間）、地域勤務（4年間）＝卒後6～9年目の人数

地域卒業医師の配置状況について

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度(予定)			
	医療機関名	人数	医療機関名	人数	医療機関名	人数	医療機関名	人数	医療機関名	人数		
初期研修医	大分大学医学部附属病院	22	大分大学医学部附属病院	26	大分大学医学部附属病院	26	大分大学医学部附属病院	24	大分大学医学部附属病院	25		
後期研修	大分大学医学部附属病院 他	9	大分大学医学部附属病院 他	14	大分大学医学部附属病院 他	19	大分大学医学部附属病院 他	34	大分大学医学部附属病院 他	31		
地域勤務	東部	国東市民病院	1	杵築市立山香病院	2	杵築市立山香病院	2	国東市民病院	1	国東市民病院	1	3
		杵築市立山香病院	1					杵築市立山香病院	2			
	中部	津久見中央病院	1	津久見中央病院	2	津久見中央病院	2	臼杵市医師会立コスモス病院	2	臼杵市医師会立コスモス病院	1	4
				臼杵市医師会立コスモス病院	1							
	南部					南海医療センター	1	南海医療センター	3	南海医療センター	1	4
						長門記念病院	1		1			
	豊肥			豊後大野市民病院	1	豊後大野市民病院	1	豊後大野市民病院	2	豊後大野市民病院	2	3
					1				大久保病院			
	西部									済生会日田病院	1	1
	北部			中津市民病院	1	中津市民病院	3	中津市民病院	4	中津市民病院	7	9
			宇佐高田医師会病院	1	宇佐高田医師会				1			
	地域勤務 計	3	地域勤務 計	8	地域勤務 計	11	地域勤務 計	14	地域勤務 計		21	
合計		34		48		56		67		77		

※後期研修には県外の専攻医を含まず、育休中の医師を含む。

## 後期研修医研修資金

大分県では、地域の中核的な病院やへき地診療所で後期研修を行う医師や、県内で小児科及び産婦人科の後期研修を受けている医師に対し、研修資金の貸与を行っています。

後期研修医が地域の中核病院で研修を行いやすくすることで、地域の中核病院の医師確保及び将来の県内定着を促進しています。

事業主体	大分県
対象者	(1) 指定医療機関(へき地拠点病院等)で後期研修を行う医師 ①市町村が設置する病院及びへき地診療所 ②その他知事が指定する病院等 (2) 小児科及び産婦人科(特定診療)の後期研修を行う医師 ※ただし、義務履行中の者(自治医・地域枠)は対象外
貸与額	月額15万円
貸与期間	3年以内
返済免除	後期研修終了後、県内の病院又は診療所(小児科又は産婦人科の医師は特定診療科)において、医師業務に1年間従事したとき
貸与対象となる研修パターン	
申込期間	随時受付(ただし、予算の範囲内)
申込先・問合せ先	大分県福祉保健部 医療政策課 地域医療推進班

## 大分県医師留学研修支援事業費補助金

大分県では、地域の中核的な病院や知事が指定する小児・周産期を担う病院等に勤務する医師が、国内外で留学研修する際の給与や旅費を勤務先の病院が支給する場合、その費用の一部を補助することで、先進医療を学ぶ機会の確保や、大学が医師派遣しやすい環境づくりを支援しています。

事業主体	大分県内の対象病院																																
対象病院	(1) 地域中核病院(診療科は問いません) ① へき地医療拠点病院(ただし、旧大分市及び別府市に所在する病院を除く) ② その他知事が指定する病院 (2) 小児救急医療及び周産期医療を担う知事指定の病院(小児科、産科に限る)																																
補助対象経費	医師の研修に要する経費(研修期間中の給与、旅費)																																
補助率	県1/2、病院1/2																																
補助要件	①対象病院において1年以上勤務している(又は勤務予定の)医師 ②対象病院において2年以上勤務している(又は勤務予定の)医師																																
基準額	①研修派遣医師1人当たり 50万円 × 研修派遣月数(6月以内) ②研修派遣医師1人当たり 50万円 × 研修派遣月数(12月以内)																																
補助上限額及び補助対象となる勤務パターン	<p>次の①～⑥の勤務パターンいずれかに該当する場合、補助の対象となります。</p> <p>◆ 研修期間6月以内：補助上限額150万円 (50万 × 6月 × 1/2)</p> <p>① 研修前に1年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>研修</td> </tr> </table> <p>② 研修後に1年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>③ 研修前後の勤務期間が通算して1年以上見込まれる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>研修</td> </tr> <tr> <td></td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>◆ 研修期間12月以内：補助上限300万円 (50万 × 12月 × 1/2)</p> <p>④ 研修前に2年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> <td>3年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>勤務</td> <td>研修</td> </tr> </table> <p>⑤ 研修後に2年間勤務する場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> <td>3年目</td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>勤務</td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>⑥ 研修前後の勤務期間が通算して2年以上見込まれる場合</p> <table border="1"> <tr> <td>1年目</td> <td>2年目</td> <td>3年目</td> </tr> <tr> <td>勤務</td> <td>研修</td> <td>勤務</td> </tr> </table> <p>研修の先取り(研修後の病院勤務)や研修期間前後の病院勤務の通算が可</p>	1年目	2年目	勤務	研修	1年目	2年目	研修	勤務	1年目	2年目	勤務	研修		勤務	1年目	2年目	3年目	勤務	勤務	研修	1年目	2年目	3年目	研修	勤務	勤務	1年目	2年目	3年目	勤務	研修	勤務
1年目	2年目																																
勤務	研修																																
1年目	2年目																																
研修	勤務																																
1年目	2年目																																
勤務	研修																																
	勤務																																
1年目	2年目	3年目																															
勤務	勤務	研修																															
1年目	2年目	3年目																															
研修	勤務	勤務																															
1年目	2年目	3年目																															
勤務	研修	勤務																															
申込先・問合せ先	大分県福祉保健部 医療政策課 地域医療推進班																																



# 医師UIJターンの促進について(H29～R2)

地域卒卒業医師の地域勤務が増え地域に医師が充足するまでにはまだ時間がかかるため、医師の地域偏在・診療科偏在への対策の一つとして県外在住医師の確保のため、下記の事業に取り組んだ。

## 初期研修医の確保

### ○臨床研修病院見学バスツアー(1泊2日)・・・R2中止

県内の臨床研修病院を見学するツアーを開催し、県外医学生に魅力ある研修体制を紹介することで、初期研修医を確保しマッチング率の向上を図る。

＜県内で初期研修を修了した研修医の県内定着率＞

H28:72.9% H29:79.4% H30:72.2% R1:75.0%

→ 初期研修後の県内定着率は高く、初期臨床研修医の確保は医師確保に効果的

#### 【H29実績】

H29.8.8～8.9実施 医学生14名(内、県外11名)

#### 【H30実績】

H30.8.7～8.9実施 医学生11名(すべて県外大学から参加)

#### 【R1実績】

R1.8.8～8.9実施 医学生12名(すべて県外大学から参加)

※H30,R1は看護学生バスツアーも同時開催

※これまでに参加した県外学生のうち、6名が  
県内で初期研修開始  
(H31.4～5名 R2.4～1名)

## 即戦力となる医師の確保

### ○おおいた医師交流会in東京・・・R2中止

(目的)

大分大学等のネットワークを活用し、大分県にゆかりのある医師・医学生の親睦を図り、さらなるネットワークを構築し、大分県へのUターンを促す。

(対象者)

関東在住の県出身医師・医学生(大分大学医学部卒業生、自治医科大学卒業医師・医学生など)及び大分県で勤務を希望する医師等

【H29実績】 H29.11.26 医師6名(内、研修医1名)

【H30実績】 H30.12.2 医師4名(内、研修医1名)

【R1実績】 R1.6.6 医師3名(内、研修医1名)

レジナビフェアにも参加しブース訪問は12名

### ○県外リクルート活動

県外在住医師を個別訪問し、県内就職を誘引する。

【H29実績】 医師2名(H30.4より県内就職)

【H30実績】 医師3名(H31.4より県内就職)

【R1実績】 医師2名(R2.4より県内就職)

【R2実績】 医師1名(R3.4より県内就職予定)

## 女性医師短時間正規雇用支援事業 事業概要

### 1 目的

短時間正規雇用を導入する医療機関を支援し、勤務医の過重労働の軽減及び女性医師の出産・育児等と勤務との両立を可能とし、医師の離職防止・復職支援を図る。

### 2 事業の実施主体

事業の実施主体は、市町村、日本赤十字社、社会福祉法人恩賜財団済生会、厚生農業協同組合連合会、全国社会保険協会連合会、医療法人、その他知事が認める者とする。

### 3 補助事業の概要

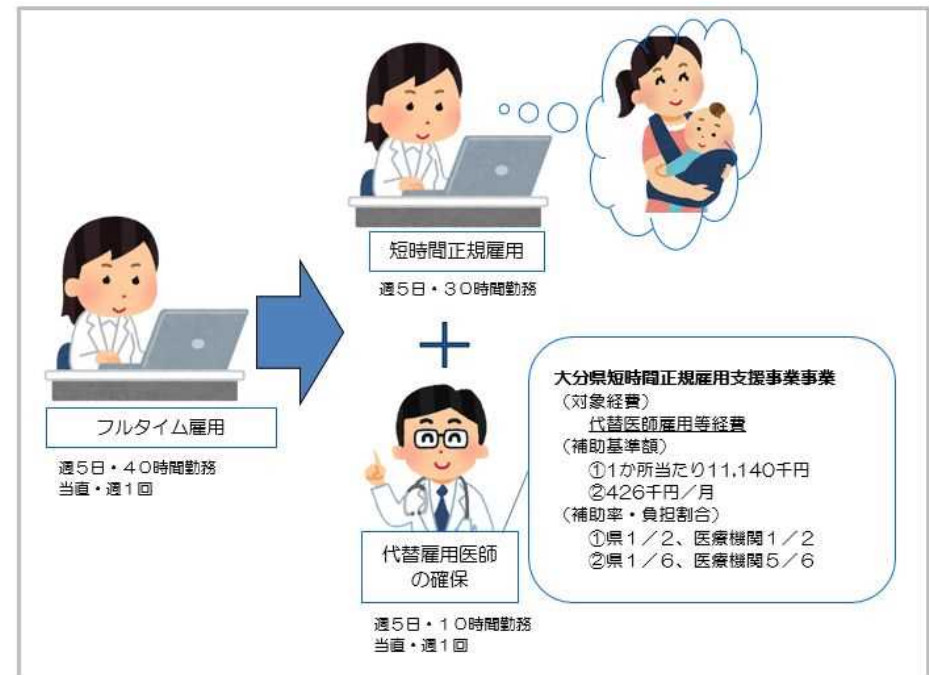
短時間正規雇用を導入するために要する経費（代替医師の確保に要する経費）に対し、予算の定めるところにより補助金を交付する。

### 4 令和2年度実績

#### 4 施設

### 5 補助額

$11,140$ （千円） $\times 1/2 + 426$ （千円） $\times$ 月数 $\times 1/6$



# 救急医療研修支援事業

【予算案】 10,860千円

## 【1 現状・問題点】

・本県の救急科医師数は九州各県で最下位である中、三次救急(救命救急センター)は、救急科医師のみならず、他の診療科の医師も救急に携わることで維持できている。

・今後も、高齢者の増加による脳卒中や心疾患など多様かつ高度な救急ニーズの増大が見込まれる。

・R6年度から医師に対する時間外労働の上限規制が適用されるなど、医療現場の状況が変化する中で、救急医療に対応できる医師の増加、救急対応能力の向上が課題となる。

・また、成人と異なる対応が必要となる小児救急を苦手とする医師も多く、小児分野の救急対応能力の向上が求められる。

## 【2 事業内容】

○救急医療体制の充実・強化を図るため、医療機関が行う救急対応能力の向上に係る研修環境の整備費用(備品等購入)への助成を行う。

→研修環境・研修体制を整えることで、救急科の医師はもちろん、救急に従事する他の診療科の医師がスキルアップできる機会を増やし、救急に対応できる人材を増やすことで、救急体制の充実・強化を図る。

## 【3 予算積算】

研修環境の整備(備品購入等)に要する経費

☆予算 10,860千円(補助率2/3)

～大分大学医学部附属病院～

・蘇生救急シミュレーター	11,660千円
・胸骨圧迫シミュレーター	1,578千円
・蘇生トレーニング等	858千円
・気道管理トレーナー	924千円
・消耗品等	280千円

小計 15,300千円

～こども病院～ (小児救急に特化した遠隔での研修)

・小児用・乳児用マネキン	740千円
・消耗品等	250千円

小計 990千円

合計 16,290千円

→16,290千円×2/3=10,860千円

※令和3年度1年限りの事業とする。

医療機関医師等支援事業  
(勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備事業)

141,379千円

(財源:地域医療介護総合確保基金)

現状・課題

- ・働き方改革関連法の改正による医師の時間外労働規制が2024年に開始(原則:960時間/年、例外:1,860時間/年)
- ・2036年までにすべての医師の時間外労働は960時間以内となる
- ・国は勤務医の働き方改革への特例的な対応として、R2年度に診療報酬及び基金事業による新たな制度を創設  
※基金事業に新たに区分6として「勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備」を追加

地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっている医療機関において、区分6を活用して、医師の労働時間短縮に向けた取組を行う医療機関を支援する。

区分6の事業内容

(1)対象事業

- ・勤務環境改善に資するICT機器の導入
- ・休憩室の設備購入等の休憩環境の整備
- ・医師事務作業補助者の研修
- ・特定行為を行う看護師の養成
- ・タスク・シェアリングに伴う代替医師の雇用等

医師の労働時間短縮計画を策定し、勤務環境改善のための取組を総合的に行う医療機関を支援

(2)対象医療機関

- ・救急車(救急ヘリ含む)受入件数が1,000台以上2,000台未満の医療機関
- ・救急車受入件数が1,000台未満のうち、夜間・休日・時間外入院件数が500件以上の医療機関、もしくは、離島・へき地等で同一医療圏に他に救急対応可能な医療機関が存在しない等の特別な理由がある医療機関
- ・周産期医療、小児救急医療、精神科救急、脳卒中や心筋梗塞等の急性期医療、在宅医療等、地域医療の確保に必要な医療機関

(3)補助率等

- ①ICT機器の導入等、資産形成につながる経費 2/3
- ②その他の経費 10/10

【補助上限額】

補助基準単価:133千円×稼働病床数  
(例)500床の場合 66,500千円

(4)交付要件

- ・時間外・休日労働時間が年960時間以上の医師がいること
- ・医師の時間外・休日労働時間が年960時間以内(※例外 1,860時間)になるような時短計画の策定
- ・勤務医の状況把握と改善必要性等について提言するための責任者の配置
- ・当該取組を院内掲示等の方法にて公開すること

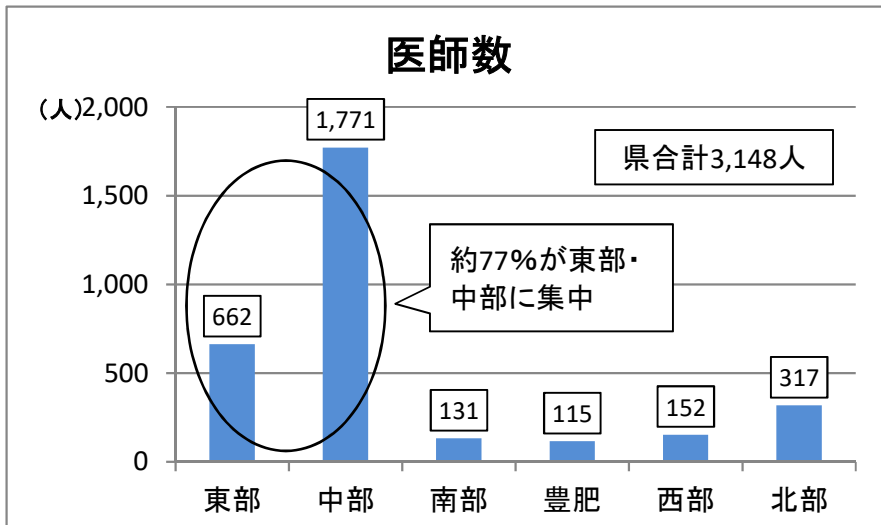
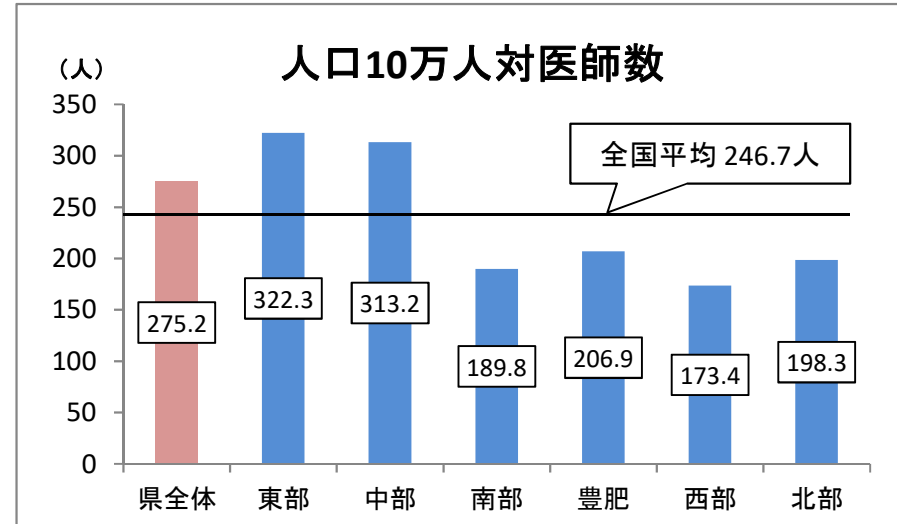
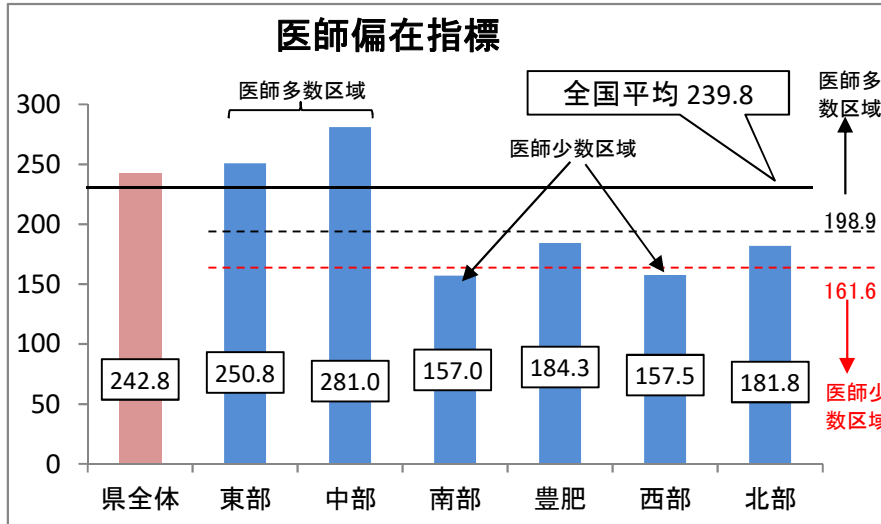
R3取組

- (1)大分大学医学部附属病院(78,204千円)
  - ・ICTを活用したカンファレンス用会議システムの構築
  - ・一定の診療補助が行える看護師を養成し、医師の一部の業務をタスクシフトするため、看護師の特定行為研修の受講を推進
- (2)大分医療センター(37,905千円)
  - ・勤怠管理システムの導入
  - ・育児短時間勤務医師の雇用
- (3)大分三愛メディカルセンター(25,270千円)
  - ・AI問診システムの導入
  - ・日当直代替などのための非常勤医師及び看護補助者の雇用

最終目的

時間外労働時間が960時間以上の医師がいる県内の全ての医療機関が、2036年までに時間外労働時間960時間以内の短縮を達成する。

## 大分県内の地域(医療圏)ごとの医師数



医療圏名	市町村名
東部医療圏	別府市、杵築市、国東町、姫島村、日出町
中部医療圏	大分市、臼杵市、津久見市、由布市
南部医療圏	佐伯市
豊肥医療圏	竹田市、豊後大野市
西部医療圏	日田市、九重町、玖珠町
北部医療圏	中津市、宇佐市、豊後高田市

出典：平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)  
 ※医師数は医療施設(病院・診療所)に従事している者の数

## 医療施設従事医師数の状況(全医師)

平成28・30年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)

市町村	人口			医療施設従事医師数			人口10万対医師数		
	H28	H30	差引増減	H28	H30	差引増減	H28	H30	差引増減
国東市	28,215	27,082	△ 1,133	42	35	△ 7	148.9	129.2	△ 19.6
姫島村	1,957	1,830	△ 127	3	3	0	153.3	163.9	10.6
別府市	121,305	119,448	△ 1,857	537	549	12	442.7	459.6	16.9
杵築市	29,807	29,047	△ 760	43	37	△ 6	144.3	127.4	△ 16.9
日出町	28,088	28,007	△ 81	34	38	4	121.0	135.7	14.6
<b>東部 計</b>	<b>209,372</b>	<b>205,414</b>	<b>△ 3,958</b>	<b>659</b>	<b>662</b>	<b>3</b>	<b>314.8</b>	<b>322.3</b>	<b>7.5</b>
大分市	478,586	478,113	△ 473	1,197	1,221	24	250.1	255.4	5.3
由布市	33,957	33,394	△ 563	459	465	6	1,351.7	1,392.5	40.8
臼杵市	38,314	37,124	△ 1,190	58	60	2	151.4	161.6	10.2
津久見市	17,549	16,772	△ 777	27	25	△ 2	153.9	149.1	△ 4.8
<b>中部 計</b>	<b>568,406</b>	<b>565,403</b>	<b>△ 3,003</b>	<b>1,741</b>	<b>1,771</b>	<b>30</b>	<b>306.3</b>	<b>313.2</b>	<b>6.9</b>
佐伯市 (南部)	71,113	69,022	△ 2,091	131	131	0	184.2	189.8	5.6
豊後大野市	36,077	34,620	△ 1,457	73	72	△ 1	202.3	208.0	5.6
竹田市	21,850	20,959	△ 891	40	43	3	183.1	205.2	22.1
<b>豊肥 計</b>	<b>57,927</b>	<b>55,579</b>	<b>△ 2,348</b>	<b>113</b>	<b>115</b>	<b>2</b>	<b>195.1</b>	<b>206.9</b>	<b>11.8</b>
日田市	65,722	63,887	△ 1,835	132	129	△ 3	200.8	201.9	1.1
九重町	9,429	9,044	△ 385	5	5	0	53.0	55.3	2.3
玖珠町	15,592	14,739	△ 853	17	18	1	109.0	122.1	13.1
<b>西部 計</b>	<b>90,743</b>	<b>87,670</b>	<b>△ 3,073</b>	<b>154</b>	<b>152</b>	<b>△ 2</b>	<b>169.7</b>	<b>173.4</b>	<b>3.7</b>
中津市	83,658	83,024	△ 634	180	181	1	215.2	218.0	2.8
豊後高田市	22,692	22,307	△ 385	35	35	0	154.2	156.9	2.7
宇佐市	55,723	54,524	△ 1,199	102	101	△ 1	183.0	185.2	2.2
<b>北部 計</b>	<b>162,073</b>	<b>159,855</b>	<b>△ 2,218</b>	<b>317</b>	<b>317</b>	<b>0</b>	<b>195.6</b>	<b>198.3</b>	<b>2.7</b>
<b>県 計</b>	<b>1,159,634</b>	<b>1,142,943</b>	<b>△ 16,691</b>	<b>3,115</b>	<b>3,148</b>	<b>33</b>	<b>268.5</b>	<b>275.2</b>	<b>6.6</b>
地域計(注1)	525,786	511,988	△ 13,798	922	913	△ 9	175.4	178.3	3.0
<b>全 国</b>	<b>126,933,000</b>	<b>126,443,000</b>	<b>△ 490,000</b>	<b>304,759</b>	<b>311,963</b>	<b>7,204</b>	<b>240.1</b>	<b>246.7</b>	<b>6.6</b>

※人口:全国→人口推計(各年10月1日現在)総務省、市町村→人口推計(年報)統計調査課

※医療施設従事医師数:各年12月31日現在

※注1:大分市、別府市、由布市を除く市町村の合計

## 【大分県】医師臨床研修マッチング率の推移

病院名	令和2年度			令和元年度			30年度			29年度			28年度			27年度			26年度			25年度			24年度			23年度		
	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率	定員	マッチ数	マッチ率
別府医療センター	9	9	100.0	9	9	100.0	9	9	100.0	9	9	100.0	8	8	100.0	8	7	87.5	6	6	100.0	4	4	100.0	4	0	0.0	4	2	50.0
大分県立病院	14	14	100.0	12	12	100.0	12	12	100.0	12	5	41.7	12	9	75.0	12	12	100.0	12	9	75.0	12	12	100.0	12	11	91.7	9	9	100.0
大分大学医学部附属病院	48	43	89.6	48	42	87.5	56	39	69.6	61	34	55.7	61	38	62.3	61	39	63.9	61	37	60.7	61	25	41.0	61	29	47.5	64	30	46.9
大分岡病院	5	5	100.0	5	5	100.0	5	3	60.0	5	4	80.0	5	3	60.0	5	2	40.0	5	3	60.0	5	5	100.0	5	4	80.0	3	3	100.0
中津市立中津市民病院	5	5	100.0	5	4	80.0	5	4	80.0	5	4	80.0	4	4	100.0	4	1	25.0	4	3	75.0	4	2	50.0	4	3	75.0	4	0	0.0
大分県厚生連鶴見病院	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0	4	4	100.0	3	3	100.0	5	3	60.0	2	0	0.0	2	2	100.0	2	0	0.0
大分中村病院	5	2	40.0	5	4	80.0	5	1	20.0	5	3	60.0	5	2	40.0	5	1	20.0	5	2	40.0	5	1	20.0	5	2	40.0	5	4	80.0
大分医療センター	0	0	0.0	2	0	0.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.0
大分赤十字病院	5	3	60.0	5	5	100.0	5	1	20.0	6	6	100.0	6	6	100.0	6	6	100.0	6	2	33.3	6	4	66.7	5	4	80.0	6	2	33.3
大分県済生会日田病院	2	0	0.0	2	1	50.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	2	100.0	2	1	50.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	1	50.0	2	0	0.0
新別府病院	4	1	25.0	4	0	0.0	4	4	100.0	2	2	100.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	1	50.0	2	0	0.0	2	1	50.0	2	0	0.0
大分医師会立アルメイダ病院	5	2	40.0	4	4	100.0	4	2	50.0	4	4	100.0	4	3	75.0	4	1	25.0	2	1	50.0	2	2	100.0	2	2	100.0	2	0	0.0
大学病院計	48	43	89.6	48	42	87.5	56	39	69.6	61	34	55.7	61	38	62.3	61	39	63.9	61	37	60.7	61	25	41.0	61	29	47.5	64	30	46.9
臨床研修病院計	58	45	77.6	57	48	84.2	57	42	73.7	56	41	73.2	54	42	77.8	53	34	64.2	51	31	60.8	46	30	65.2	47	30	63.8	45	20	44.4
合計(大分県)	106	88	83.0	105	90	85.7	113	81	71.7	117	75	64.1	115	80	69.6	114	73	64.0	112	68	60.7	107	55	51.4	108	59	54.6	109	50	45.9
全国	11,007	8,869	80.6	11,109	9,042	81.4	11,253	9,202	81.8	11,014	9,023	81.9	11,195	8,906	79.6	11,052	8,687	78.6	11,004	8,399	76.3	10,489	7,979	76.1	10,519	7,908	75.2	10,550	7,951	75.4

令和3年度 大分県専門研修プログラム登録状況一覧 (R3.2.28現在)

(単位:人)

領域名	内科		救急科	小児科		精神科			外科		産婦人科	
	大分大学	県立病院	大分大学	大分大学	県立病院	大分大学	別府医療センター	帆秋病院	大分大学	県立病院	大分大学	県立病院
定員数	35	3	5	8	3	5	1	4	10	2	10	3
一次採用数	16	3	1	4	0	3	0	1	6	0	3	0
二次採用数	4	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	1
合計	23		1	4		5			9		5	

領域名	整形外科				麻酔科		皮膚科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科
	大分大学	大分中村病院	大分整形外科病院	別府医療センター	大分大学	県立病院	大分大学	大分大学	大分大学	大分大学	大分大学	大分大学
定員数	6	2	2	2	14	1	5	4	3	5	2	4
一次採用数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
二次採用数	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	0	1
合計	2				3		2	0	0	1	0	1

領域名	病理科	臨床検査科	形成外科		リハビリテーション科	総合診療科		
	大分大学	大分大学	県立病院	大分岡病院	大分大学	大分大学	大分健生病院	湯布院病院
定員数	1	1	3	1	2	4	2	2
一次採用数	0	0	2	0	0	1	1	0
二次採用数	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	0	0	3		0	2		

	R3	(参考)R2
定員合計	155	141
一次採用合計	44	50
二次採用合計	17	8
採用計	61	58
マッチング率	39.4%	41.1%



## 専門研修プログラム採用数の推移(H30～R3)

(単位:人)

		H30	R1	R2	R3 (予定)
1	内科	25	26	23	23
2	救急科	0	0	2	1
3	小児科	7	4	2	4
4	精神科	5	3	0	5
5	外科	8	4	5	9
6	産婦人科	2	5	3	5
7	整形外科	2	2	4	2
8	麻酔科	1	3	2	3
9	皮膚科	1	3	4	2
10	眼科	4	3	2	0
11	耳鼻咽喉科	1	2	3	0
12	泌尿器科	2	1	0	1
13	脳神経外科	1	0	1	0
14	放射線科	2	1	3	1
15	病理科	1	1	0	0
16	臨床検査科	0	0	0	0
17	形成外科	0	1	2	3
18	リハビリテーション科	0	0	0	0
19	総合診療科	2	2	2	2
	合計	64	61	58	61